

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室・教務部
大項目	11 教員・教員組織 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。【担当部局：学長室】	
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。【担当部局：学長室】	
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)	
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。【担当部局：学長室】	
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事	
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。	
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施【担当部局：学長室】 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性【担当部局：教務部】	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 求める能力・資格等の明確化のため、教員の活動点検・評価制度の運用を開始する。	→2009年度末までに人事考課(教員)検討委員会の答申を作成し、大学評議会、理事会の承認を得る。	C
2. 本学にふさわしいST比を提示し、「KG学士力」の質を大学として保証するため適切な改善を行う。	→2009年度末までに望ましいST比の改善策を検討委員会において答申作成し、2010年度上期中に大学評議会、理事会の承認を得る。	D
3. 高等教育推進センターを設置し、授業に関わる相談・改善、教員研修システムの開発・実施など、全学的にFD活動を推進する。	→2009年度下期中に高等教育推進センター設置について承認を受け、2010年4月同センターを設置する。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆	小項目 11.0.1	(現状説明) 教員の活動点検評価制度については、新中期計画人事評価(教員)検討委員会が、案を作成し、2009年12月15日の学部長会で懇談された。その後、各学部(学科)、研究科で意見交換し、2010年2月12日の大学評議会において懇談された。大学評議会での意見の主なものは、「評価制度がもたらさうる管理強化に対する危惧、警戒感、またこの制度が各学部の運営の現状に合致しないのではないか」等、全体としては批判的なものであったが、他方で、この案を積極的に評価する意見もあり、また、「この制度では悪平等を是正できず、中途半端である」との意見もあった。委員会としては、大学評議会の意見を踏まえ、これまでの学内制度と共通化しつつ本学の教育・研究力を向上できる一致点を盛り込んだ提案として、「人事評価(教員)検討委員会報告」をまとめ、2010年4月26日の新構想推進委員会で報告し、推進委員会は同報告の受理を承認した。今後は、大学評議会でも報告し、そこでの懇談内容を踏まえて今後の方向性を判断することになった。
☆	小項目 11.0.2	(現状説明) 「KG学士力」の質を大学として保証するための適切な改善を行うため、ST比検討委員会において、本学にふさわしいST比を検討しようとしたが、前提となる大学全体の新中期計画の教員要員計画が不確定なため、検討に入ることができなかった。
☆	小項目 11.0.3	当小項目の目標・指標設定は、行っていない。
☆	小項目 11.0.4	(現状説明) 本学の教育力を強化し教育の質を高めるため、総合教育研究室と情報メディア研究センターを統合する組織として、高等教育推進センターを2010年4月1日付で設置した。設置したセンターの機能は、①高等教育に関する研究・調査②ICTを活用した教育支援③FDの立案/推進/支援④その他からなり、規程整備を行い、今後の事業計画、人員計画を進めているところである。
☆	その他	

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

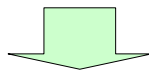
【全学部】			単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	専任教員1人あたりの学生数 (ST比)		人	—	—	—	40.5	40.7	
指標2	必修科目および選択必修科目に対する専任比率	専門教育	%	74.0	76.2	75.1	76.9	77.0	
		教養教育	%	34.8	32.0	36.9	36.6	37.1	
指標3	専任教員の年齢別構成 (分布)			→	→	→	→	→	大学基礎データ表21参照
指標4	教員組織における女性教員の比率		%	11.5	11.7	12.6	16.0	16.6	
指標5	本学出身の専任教員の構成比率		%	—	—	—	24.9	24.2	

注) 指標5は学部、研究科、研究所、センターを対象とする。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	小項目 11.0.3	
	小項目 11.0.4	
	その他	



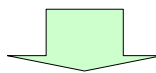
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	小項目 11.0.3	
	小項目 11.0.4	
	その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	小項目 11.0.3	
	小項目 11.0.4	
	その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

★	小項目 11.0.1	
	小項目 11.0.2	
	小項目 11.0.3	
	小項目 11.0.4	
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○ST比について

・改善の検討をスケジュールにのせていくことが望まれます。
・他の指標もそうですが、近年の動向はほとんど変化していないようにみられますので、比較対象がないと評価が難しいと思われます。他大学の指標等をベンチマークとして収集することなどが望まれます。
・従前から指摘されていたことと思いますが、ST比の学部間のバラツキが課題として指摘されます。基本的な指標データによると、特に高い(50人を上回っている)商、社会、法について、検討が望まれます。

○教員の人事評価、FDについては、制度的な検討がスケジュールにのっており、今後その検討結果が組織的にまとまって成果となっていくことが期待されます。

○なお、各学部、研究科のFD活動に対する自己評価を見ると、全般的に具体性を欠くものが多いため、高等教育推進センターのイニシアティブによるFD活動の強力な推進が強く求められます。

【学内委員】

○《小項目ごとの現状説明》の小項目11.0.3は目標、指標を設定して無くても記載が必要です。また、小項目11.0.4もFD活動についての現状記述が必要です。

○小項目ごとの現状説明が「目標」に関するものになっています。そうではなく、各小項目についての現状説明をする必要があります(6月11日付Q&A参照)。なお、11.0.1で述べられていることは、11.0.4に関するもののように思います。

○現状説明は掲げられた目標・指標の説明だけでなく、小項目で問われていることについて、特定6項目データなどを示しながら現状説明してください。

○改善すべき事項はありませんか。

○社会で評価される水準のST比の実現を目指し、検討することが期待されます。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)に留意してください。ここで示されていることについて現状説明していくことも基準の自己チェックにもなり有効です。基準に達していない場合は、必ず記述してください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ (現状説明) 11.0.3の記述は次のとおり変更する・「採用・昇格においては規程を整備しており、各学部・研究科における内規も制定しており適切に実行している。」

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

11.0.0.S1	専任教員一人あたりの在籍学生数
11.0.0.S2	開設授業科目における専任比率
11.0.0.S3	専任教員の年齢別構成
11.0.0.S4	教員一人当たりの授業時間数
11.0.0.S5	本学出身の専任教員の構成比率
11.0.0.S6	海外の大学で学位を取得した専任教員の比率
11.0.0.S7	教員組織における実務家教員の占める割合(専門職大学院に限定)
11.0.0.S8	教員組織における女性教員の占める割合
11.0.0.S9	任期制教員(契約教員)の採用数
11.0.0.S10	実験実習指導補佐、教務補佐、授業補佐の採用数
11.0.0.S11	ティーチング・アシスタント(TA)の採用数
11.0.0.S12	契約助手の採用数
11.0.0.S13	実験助手の採用数
11.0.0.S14	リサーチ・アシスタント(RA)の採用数
11.0.0.S15	公募制による採用教員の数

<個別的な指標>
